



ХӨДӨЛМӨР,
НИЙГМИЙН ХАМГААЛЛЫН ЯАМ



JAPAN INTERNATIONAL
COOPERATION AGENCY

ウランバートル市における障害者の社会参加促進
プロジェクト (DPUB)

5月23日に実施された「障害勉強会」の様子がNTVのニュース番組で紹介されました
(2018. 05. 30)

国際的にも、障害者施策が進んでいる国は障害者自身が政府や社会に自分たちのニーズを訴え、障害者の権利を獲得してきました。この勉強会は、障害者が正しく障害者の状況を理解し、政策形成に参加できるようになるためのものです。今回のテーマは障害統計でした。熱心に勉強する障害者や行政官の様子が紹介されています。ぜひ御覧ください。<https://www.facebook.com/ntvmn/videos/1877233205641179/> (27分頃から)



勉強会が実施されている様子

メコン川水泳大会



チーフアドバイザー千葉寿夫

さて業務外でカンボジアの一番の思い出と言えば、メコン川水泳大会に出場し2位になったことです。当時、JICAから水泳コーチとして派遣されていた協力隊員から、大会に参加してみない？と誘われました。ルールは至って簡単で、メコン川対岸から一番早く泳いで渡った人が勝ちというものでした。首都プノンペンを流れる川は、正確にはトンレサップ川でメコン川の支流です。それでも川幅が400mあり、しかも川に流されるので公称600mの水泳大会でした。小船で対岸に連れて行ってもらい、参加者は100人くらい。その多くが地元カンボジア人で、日本人は5人くらい。護岸工事もされていないので、茂みをかき分け川に入り、スタートの合図を待ちました。でも茂みでスターターも見えず、いつ合図があるのか分からないまま待ち続けていると、みんなが一斉に泳ぎだしたので慌てて飛び出しました。水はかなり濁っていて自分の手すら見えません。方向を確認するために水面から顔を上げてゴールを確認。でも周りに泳いでいる人も見えません。自分が何位なのかも分からず、兎に角、ゴールを目指して泳ぐしかありませんでした。いよいよゴール眼前、もう少しと思った瞬間、さっと下降に流されてしまいました。仕方なくゴールから離れた所に着岸し、そこから歩いてゴールまで戻りました。するとスタッフからおめでとう！の一言。なんと2位だったのです。JICA事務局長からメダルと賞金を頂き、TVインタビューも受けました。TVを見たカンボジア人の同僚や友人から翌日も祝福され、嬉しい思い出になりました。この大会を通し、仕事だけじゃなく、様々な活動をする事で交流が増え、生活も仕事も充実することを知りました。(つづく・・・)

JICADPUBのFACEBOOKページに「いいね」をお願いします。

お陰様で、今ではページのいいねが2428件に達し、より多くの方に情報を発信できるようになりました。これからも、楽しんでいただけるような投稿を目指して頑張ります。引き続き、宜しくお願い致します。





モンゴル建設専門紙「Barilga.MN」でプロジェクト活動が以下の様に紹介されました。障害者の社会参加を進めるには、建築業界の理解と協力が本当に必要です。ぜひ多くの建築業界関係者にご覧になって頂きたいと思っています。

全ての人々に優しい環境整備に、建築分野が果たす役割が大きい！（2018.06.05）

労働社会保障省がJICAと協力し、2016年からプロジェクトを開始した。障害者が社会に参加する際に、建物のアクセシビリティ、インフラの開発が大きな役割を果たしている。そのため、プロジェクトが物理的なアクセシビリティを成果の1つとして取り上げている。活動の一環として障害者、行政機関と共に物理アクセス調査を行い、実際に障害者が利用出来ているかどうかを調べた。建築分野の関係者の障害者に対する態度、理解が変われば、改善の取り組みがより促進される。DETを含めて、プロジェクトの研修に建築関係者に多く参加してほしい。障害者に優しい社会とは全ての人々に優しい社会のこと。建築分野の皆様の協力が必要である。

5月17日に実施された「障害統計公開セミナー」の様子がNTVのニュース番組（メーデー）で紹介されました（2018.05.30）

統計局のアマルバル局長、JICA/DPUBの千葉チーフ・アドバイザーのインタビューもあり、モンゴル政府が障害統計情報をできるだけ正確に、また国際比較ができるよう収集するワーキング・グループの取り組みが紹介されています。現在、モンゴルには10.3万人の障害者がいますが、国際的な障害統計の手法を使えば、より多くの障害者が発見されるでしょう。ぜひ御覧ください。<https://www.facebook.com/ntvmn/videos/1870899972941169/>（27分頃から）



アマルバル局長

6月12日に障害者権利法改定についての第1回作業部会を開催しました（2018.06.13）

NGO・障害当事者、行政機関、プロジェクトメンバー等、27名が参加しました。労働・社会保障省のトンガラタミル局長による進行の下、千葉チーフアドバイザーが開会の挨拶を行いました。そして、法律の専門家（写真中の登壇者。DPUBのローカル・コンサルタント。）による今後の改定に向けた進め方についての説明を受け、参加者との活発な質疑応答が行われました。同法の改正の内容はもちろんです、障害分野のNGO・当事者、行政機関による議論の過程も重要と考えます。



ローカルコンサルタントのスンジドさん

DPUB連絡先

Office: Government Building – 2, United Nation’s Street – 5, Ministry of Labor and Social Protection Ulaanbaatar – 15160, Mongolia

Facebook: <https://www.facebook.com/jicadpub>

Website: <https://www.jica.go.jp/project/mongolia/015/index.html>

E-mail: dpub.jica@gmail.com